

施設定期検査に係る定期事業者検査の実績報告について

原発本第205号
令和2年 2月19日

原子力規制庁長官
萩野 徹 殿

福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 池 辺 和 弘
社長執行役員

「実用発電用原子炉施設に係る施設定期検査に関する運用要領」に基づき、川内原子力発電所第2号機第23回施設定期検査に係る定期事業者検査実績について別紙のとおり報告します。

別 紙

川内原子力発電所

第 2 号機

第 2 3 回施設定期検査に係る定期事業者検査の実績報告書

目 次

1. 検査実施期間	1
2. 施設定期検査に係る定期事業者検査実績	3
3. 施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事等	6 9
4. 施設定期検査成績書における所見及び処置	6 9
5. 放射線業務従事者の実績線量	7 0

1. 検査実施期間

検査実施期間	計 画	<p>令和元年10月18日～令和2年 1月23日</p> <p>（ 並列日 令和元年12月26日 解列から並列までの日数 70日間 解列から総合負荷性能検査日までの日数 98日間 ）</p>
	実 績	<p>令和元年10月18日～令和2年 1月23日</p> <p>（ 並列日 令和元年12月26日 解列から並列までの日数 70日間 解列から総合負荷性能検査日までの日数 98日間 ）</p>
計画との相違		<p>_____</p>

2. 施設定期検査に係る定期事業者検査実績

検 査 名	検査実績	備 考
クラス1 機器供用期間中検査	○	・別紙-1のとおり
燃料集合体外観検査	○	
燃料集合体炉内配置検査	○	
原子炉停止余裕検査	○	
クラス2 機器供用期間中検査	○	・別紙-2のとおり
蒸気発生器伝熱管体積検査	○	
蒸気発生器伝熱管変形検査	該当検査なし(設備の相違)	
加圧器安全弁機能検査	○	
加圧器安全弁漏えい検査	○	
加圧器安全弁分解検査	○	
加圧器逃がし弁機能検査	○	
加圧器逃がし弁漏えい検査	○	
加圧器逃がし弁分解検査	○	
加圧器逃がし弁元弁機能検査	○	
原子炉補機冷却系機能検査	○	
非常用炉心冷却系機能検査	○	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	○	
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	○	
補助給水系機能検査	○	
補助給水系ポンプ分解検査	○	
主蒸気安全弁機能検査	○	
主蒸気安全弁漏えい検査	○	

検 査 名	検査実績	備 考
主蒸気逃がし弁機能検査	○	
主蒸気逃がし弁漏えい検査	○	
主蒸気隔離弁機能検査	○	
制御棒駆動系機能検査	○	
ほう酸ポンプ分解検査	今回計画なし	・保全計画による
制御用空気圧縮系機能検査	○	
安全保護系機能検査	○	
安全保護系設定値確認検査	○	
プラント状態監視設備機能検査	○	
燃料取扱装置機能検査	○	
原子炉格納容器循環系フィルター性能検査	該当検査なし(設備の相違)	
アニュラス循環排気系機能検査	○	
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	○	
中央制御室非常用循環系機能検査	○	
中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	○	
気体廃棄物処理系機能検査	○	
原子炉格納容器全体漏えい率検査	○	・低圧にて実施
原子炉格納容器局部漏えい率検査	今回計画なし	・保全計画による
原子炉格納容器隔離弁機能検査	○	
原子炉格納容器隔離弁分解検査	○	
原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	○	
原子炉格納容器安全系機能検査	○	

検 査 名	検査実績	備 考
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	今回計画なし	・保全計画による
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	○	
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	○	
アイスコンデンサ機能検査	該当検査なし(設備の相違)	
非常用予備発電装置機能検査	○	
非常用ディーゼル発電機分解検査	○	
総合負荷性能検査	○	
ほう酸ポンプ機能検査	○	
クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査	○	・別紙-3のとおり
蒸気タービン開放検査	○	
蒸気タービン性能検査	○	
加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査	○	・クラス1機器供用期間中検査で実施
重大事故等クラス1機器供用期間中検査	該当検査なし(設備の相違)	
重大事故等クラス2機器供用期間中検査	○	・別紙-4のとおり
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	○	
その他原子炉注水系ポンプ分解検査	○	
その他原子炉注水系主要弁分解検査	○	
その他原子炉注水系機能検査	○	
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	○	
重大事故時安全停止回路機能検査	○	
プロセスモニタ機能検査	該当検査なし(設備の相違)	
エリアモニタ機能検査	○	

検 査 名	検査実績	備 考
緊急時制御室非常用循環系機能検査	該当検査なし(設備の相違)	
緊急時対策所非常用循環系機能検査	該当検査なし(設備の相違)	
緊急時制御室非常用循環系フィルター性能検査	該当検査なし(設備の相違)	
緊急時対策所非常用循環系フィルター性能検査	該当検査なし(設備の相違)	
中央制御室の居住性確認検査	今回計画なし	・保全計画による
緊急時制御室の居住性確認検査	該当検査なし(設備の相違)	
緊急時対策所の居住性確認検査	1号機で実施	
圧力逃がし系作動検査	該当検査なし(設備の相違)	
圧力逃がし系フィルター性能検査	該当検査なし(設備の相違)	
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	○	
その他非常用発電装置の分解検査	今回計画なし	・保全計画による
その他非常用発電装置の機能検査	○	
直流電源系機能検査	○	
直流電源系作動検査	○	

I. クラスI機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度:高)
 (1) 原子炉容器 (1/3)

項目 番号	カテゴリー	検査の 対象箇所	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考				
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:17回)						検査範囲	SA7/S		
								17	18	19	20	21				22	23
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	3ヶ所	水中UT(内面)	100%									SA2	100%
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%									SA2	100%
		下部胴とトランジッションの周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%									SA2	100%
B3.105	B-C	トランジッションと下部鏡板の周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%									SA2	100%
B3.106	B-C	上部胴と上部胴フランジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1ヶ所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)									SA2	100%
B3.10	B-D	上部鏡板と上部蓋フランジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1ヶ所	UT	100%(可能範囲)									SA2	15%
		冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)									SA2	100%
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)									SA2	100%
		冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積	100%(可能範囲)	6箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)									SA2	100%
B5.10	B-F	呼び径100A以上の管台とセーメントの溶接継手														-	
		冷却材入口管台とセーメントの溶接継手	体積及び表面	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面) PT	100%(可能範囲)										3箇所
		冷却材出口管台とセーメントの溶接継手	体積及び表面	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面) PT	100%(可能範囲)										3箇所
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	8個	10個	10個	10個	10個	10個		SA2	第18回定検上蓋取替	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%(58本)	8本	10本	10本	10本	10本	10本		SA2	第18回定検上蓋取替	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%(58箇所)	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	9箇所		SA2	第18回定検上蓋取替	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	8個	10個	10個	10個	10個	10個		SA2	第18回定検上蓋取替	

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NAI-2008を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びびその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (1) 原子炉容器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SA/7s	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数：17回)											
								17	18	19	20	21	22			23	24		
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 T/Cボルトのクラック	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)											—	
B14.10	B-0	制御棒駆動装置のボルトの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%	19箇所(最外周)	PT	最外周の25% (6箇所)			1組								SA2	第18回定検上蓋取替
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	濡えい検査時100%	1式	VT-2	濡えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2	第18回定検上蓋取替
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中リフト)	100% (可能範囲)	100%	100%									SA2	
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)	4箇所	VT-3 (水中リフト)	100% (可能範囲)											SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
G1.40	G-P-1	内部取付け物																—	
G1.50	G-P-2	炉心支持構造物																SA2	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)	6箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)	1箇所	100%									SA2	下部炉心構造物取外し時に実施 但し、目視可能な範囲とする

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)

(1) 原子炉容器 (3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおける Ni 基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲 100% (可能範囲)	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲 100% (可能範囲)	検査頻度	川内原子力発電所第2号機検査計画															備考
										定期検査の回数 (起点となる回数：15回)															
										12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
-		冷却材入口管台とセーフコントの溶接継手の溶接継手	体積、表面及びビベアメタル検査	100% (可能範囲)	3箇所	UT (垂直)	100% (可能範囲)	7年間	B			3箇所							3箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ISI検査のRV/IST(水中UT)にてUT(垂直及び縦波斜角)を15回の定期事業者検査において全数実施 ・次回検査については、検査間隔内(20回~24回)での定期期間内(20回~24回)にて実施する。 ・クラス1機器供用期間中検査にて実施 					
									3箇所														3箇所		
									B																
-		冷却材出口管台とセーフコントの溶接継手の溶接継手	体積、表面及びビベアメタル検査	100% (可能範囲)	3箇所	UT (垂直)	100% (可能範囲)	10年間	B			B								<ul style="list-style-type: none"> ・至近の定期検査での要求に対しては、15回の定期事業者検査においてUT(垂直、縦波斜角)にて対応。 ・ISI検査のRV/IST(水中UT)にてUT(垂直及び縦波斜角)を15回の定期事業者検査において全数実施 ・次回検査については、検査間隔内(20回~24回)での定期期間内(20回~24回)にて実施する。 ・クラス1機器供用期間中検査にて実施 					
									3箇所														3箇所		
									B																
-		原子炉容器上蓋の表面	ベータ放射線検査	100% (可能範囲)	1箇所	ベータ放射線検査	100% (可能範囲)	10年間												<ul style="list-style-type: none"> ・至近の定期検査での要求に対しては、15回の定期事業者検査においてUT(垂直、縦波斜角)にて対応。 ・第18回定期検査上蓋取替(690系Ni基合金化)により第19回定期検査以降検査対象外 					
-		原子炉容器底部の表面	ベータ放射線検査	100% (可能範囲)	1箇所	ベータ放射線検査	100% (可能範囲)	5年間												<ul style="list-style-type: none"> ・至近の定期検査での要求に対しては、15回の定期事業者検査においてUT(垂直、縦波斜角)にて対応。 					

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (1/3)

項目番号	カテゴリ	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										備考												
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数: 17回)																
								17	18	19	20		21	22	23									
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	1ヶ-4	UT	5%	5%								SA2								
B2.12	B-B	下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%	1ヶ-4	UT						5%				SA2								
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ-4	UT					(A) 10%					SA2								
B2.13	B-B	下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ-4	UT						(B) 10%			(A) 10%	SA2								
		上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%	1ヶ-4	UT				5%						SA2								
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	6箇所	UT	管台数の25% (2箇所)																	
		ナゾ用管台と容器との溶接継手																						
		スプレ用管台と容器との溶接継手																						
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手																						
		安全弁用管台と容器との溶接継手																						
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	6箇所	UT	管台数の25% (2箇所)																	
		ナゾ用管台内面の丸みの部分																						
		スプレ用管台内面の丸みの部分																						
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分																						
		安全弁用管台内面の丸みの部分																						

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
(2) 加圧器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考
								17	18	19	20	21	22	23	
B5. 40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	6箇所	UT (垂直) UT (縦横斜角) PT	溶接継手(管台)数の25% (2箇所)								SA2 UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
		ナゾ用管台とセーフエンドの溶接継手※2			1箇所	1箇所									
		スプレ用管台とセーフエンドの溶接継手※2			1箇所	1箇所									
		逃がし弁用管台とセーフエンドの溶接継手※2			1箇所	1箇所									
		安全弁用管台とセーフエンドの溶接継手※2			1箇所	1箇所									
B7. 20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締め部	VT-1	25%	16本	VT-1	100% (16本)								SA2
B8. 20	B-H	マンホール取付ボルト	表面	7.5%	13-4	PT	7.5%								
		容器の支持部材取付け溶接継手													
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	2.5%							SA2
F1. 41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等、外含む)	VT-3	25% (可能範囲)	1箇所	VT-3	25% (1箇所) (可能範囲)								SA2

※2 第19回定検管台とセーフエンドの溶接継手取替 (690系Ni基合金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (3/3)
 加圧水型軽水炉の一次冷却材圧カバワンダリにおけるNi基金金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	川内原子力発電所第2号機検査計画															備考	
									定期検査の回数(起点となる回数:15回)																
									12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23					
		サージ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT(垂直) UT(縦波斜角) PT	溶接継手(管台)数の25%	10年間																	・ 至近2定検での要求に対しては、機方向と縦について14回で確認済、15回では機方向と縦のみ確認。 ・ クラス1機器供用期間中検査にて実施。 ・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外
		スレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT(垂直) UT(縦波斜角) PT	溶接継手(管台)数の25%	10年間			1箇所														・ 至近2定検での要求に対しては、機方向と縦について14回で確認済、15回では機方向と縦のみ確認。 ・ クラス1機器供用期間中検査にて実施。
		逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT(垂直) UT(縦波斜角) PT	溶接継手(管台)数の25%	10年間			1箇所										1箇所				・ 至近2定検での要求に対しては、14回で実施済。 ・ 至近2定検での要求に対しては、14回で実施済。 ・ クラス1機器供用期間中検査にて実施。
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	3箇所	UT(垂直) UT(縦波斜角) PT	溶接継手(管台)数の25%	10年間																	・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外 ・ 至近2定検での要求に対しては、Bについて12回、Cについては13回で実施済。 ・ 至近2定検での要求に対しては、14回で実施済。 ・ クラス1機器供用期間中検査にて実施。
				100%		ベアリング検査	100%(可能範囲)	5年間					1箇所												・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外
				100%		ベアリング検査	100%(可能範囲)	5年間					1箇所												・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外
				100%		ベアリング検査	100%(可能範囲)	5年間					1箇所												・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外
				100%		ベアリング検査	100%(可能範囲)	5年間					1箇所												・ 第19回定期検査台数(690系Ni基金金化)により第20回定検以降以降検査対象外

※2 第19回定期管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基金金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (3) 蒸気発生器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										SAクラス	備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:17回)						検査範囲	
								17	18	19	20				21
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の周溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ所/基×3基	UT	代表1基の25%	(C) 5%	(C) 5%	(C) 7.5%	(C) 7.5%	(C) 7.5%	SA2		
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT	代表1基の25%(1箇所)					(C入口) 1箇所	SA2		
B5.70	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフティの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手の25%	2箇所/基×3基	UT(垂直)	A出口 B出口 C出口					C入口	SA2	・ UT及びPTにおいてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応) ・ 超音波探傷試験の代替試験必要箇所 ・ 第18回定期検査蒸気発生器入口管台補修実施(690系Ni基合金化)	
		UT(傾斜角)				A出口 B出口 C出口					C入口				
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締め付け部 マンホール取付けボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×3基	VT-1	代表1基の50%(16本)					(C入口) 16本	SA2		
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×3基	PT	代表1基の7.5%(1箇所)					C 1箇所	SA2		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%	3基	ECT	---	---	---	---	---	---	SA2	別要領書により実施	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%(可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	SA2		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト含む)	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)	4箇所/基×3基	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)					C 1箇所	SA2	但し、目視可能な範囲とする	

注：第22回定期検査蒸気発生器取替(690系Ni基合金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画											備考
								定期検査の回数(起点となる回数: 15回)											
								12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積、表面及びヒベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	2箇所/基×3基	UT (垂直)	代表1基の溶接継手数の25%	C入口 C出口	B出口	A入口 B入口 C入口	A出口 B出口 C出口	A入口 B入口 C入口	A出口 B出口 C出口	A入口 B入口 C入口	A出口 B出口 C出口	SA2	・至近の定検での要求に対しては、Bについては13回で差延済。(出口)所 ・超音波探傷試験の代替試験必要		
						PT		B出口	C入口 C出口	A出口 B出口 C出口	A入口 B入口 C入口	A出口 B出口 C出口	A入口 B入口 C入口	A出口 B出口 C出口	SA2	・クラス1機器供用期間中検査にて実施(入口)			
-	-	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積、表面及びヒベアメタル検査	100%	1箇所/基×3基	ベアミッド検査	100% (可能範囲)	B出口	B	C入口	C	C入口	C	B	SA2	・至近の定検での要求に対しては、Cについては15回、A、Bについては16回の定期事業者検査においてUT(垂直、縦波斜角)にて対応 ・第18回定検蒸気発生器入口管台補修工事(690系Ni基合金化)により第19回定検以降検査対象外			
						ベアミッド検査		B	C	C	B	SA2	・至近の定検での要求に対しては、Cについては15回、Aについては16回の定期事業者検査においてUT(垂直、縦波斜角)にて対応 ・第22回定検蒸気発生器設置(690系Ni基合金化)により第23回定検以降検査対象外						

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画											備考
								定期検査の回数											
								12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×3基	ECT	UT実施箇所100%	A出口 B出口 C出口								SA2	・超音波探傷試験の代替措置計画に基づき検査対象箇所 ・亀裂の検出(川内発電所第1408/063号) ・第22回定検蒸気発生器設置(690系Ni基合金化)により第23回定検以降検査対象外		

蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画											備考
								定期検査の回数											
								12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積	100%	1箇所/基×3基	ECT	100%	A出口 B出口 C出口								SA2	・第22回定検蒸気発生器設置(690系Ni基合金化)により第23回定検以降検査対象外		

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (4) 1次冷却ポンプ (1/1)

項番	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						SAクラス	備考		
							定期検査の回数 (起点となる回数：17回)									
							17	18	19	20	21	22	23			
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部														
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%	24本×3台	UT	(C) 2本				(C) 2本	(C) 2本			SA2	
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%	24箇所×3台	VT-1							(C) 6箇所		SA2	インターナル分解時に実施
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	各24個×3台	VT-1							(C) 各6個		SA2	インターナル分解時に実施
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部														
B12.20	B-L-2	シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%	12本×3台	VT-1						(B) 12本			SA2	
B15.60	B-P	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	3台	VT-3							(C) 100%		SA2	インターナル分解時に実施
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、プレート、基礎等、外合意)	VT-3	代表1台の25% (可能範囲)	3箇所×3台	VT-3									SA2	但し、目視可能な範囲とする

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(5) 弁 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						SA/7ス	備考									
								定期検査の回数 (起点となる回数：17回)																
								17	18	19	20	21	22	23										
B6. 210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ボルト、植込みボルト)	体積	代表1台の25%	4台	UT	代表1台の100%																	
		RHRS高温側出口ライン																						
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B																						
B6. 220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (772ジグ表面)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%																	
		RHRS高温側出口ライン																						
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B																						
B6. 230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (チャット、ブッシング、ワッシャ)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%																	
		RHRS高温側出口ライン																						
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B																						
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	36台	VT-1	代表1台の100%																	
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)																						
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)																						
		加圧器逃がしライン (2V-RC-053)																						
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057)																						
		加圧器スプレイン (2-PCV-454A, 454B)																						
		加圧器補助スプレイン (2V-CS-225)																						
CVCS再生熱交換器胴側入口ライン (2-LCV-451, 452) クローズド・レグ・ドレンライン (2V-RC-017)																								

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(5) 弁 (2/3)

項番	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	設備数	検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考											
						検査範囲	17	18	19	20	21	22			23										
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締め部 クロスハブ・レグ・ドレンライン (2V-RC-019A~C) CVCS再生熱交換器出口~RCS低温側充てんライン (2V-CS-228, 229) SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A~C, 136A~C) SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B) SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A~C, 203A~C) SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)	代表1台の25%	36台	VT-1	代表1台の100%																			
				3台		代表1台の100%																			
				2台		代表1台の100%																			
				6台		代表1台の100%					1台 (136C)														
				4台		代表1台の100%																			
				6台		代表1台の100%																			
				1台		代表1台の100%																			
				24台																					
				3台																					
				2台																					
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱) 加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057) RHRS高温側出口ライン (2V-RH-001A, 001B) 余熱除去ポンプ入口ライン (2V-SI-003A, 003B) SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A~C, 136A~C) SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B) SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A~C, 203A~C) SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)	代表1台	2台	VT-3	代表1台																			
				6台		代表1台																			
				4台		代表1台																			
				6台		代表1台																			
				1台		代表1台																			
				1式		VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(5) 弁 (3/3)

項番	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SA/7ス	備考							
							定期検査の回数 (起点となる回数: 17回)															
								17	18	19	20	21	22	23								
F. 1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%	28箇所	VT-3	8箇所															
		加圧器安全弁7台 (2V-RC-055~057)			支持構造物全数の25% (1箇所)														1箇所 (055)			
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)			RH: 2箇所 HS: 1箇所 MS: 1箇所																	
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)			RH: 1箇所 HS: 3箇所																	
		加圧器スプレイン (2-PCV-454A, 454B)			RH: 1箇所 MS: 3箇所																	
		加圧器補助スプレイン (2V-CS-225)			RH: 1箇所																	
		CVCS再生熱交換器胴側入口7台 (2-LCV-451, 452)			RH: 2箇所 HS: 2箇所																	
		RHRS高温側出口7台 (2V-RH-001A, 001B)			HS: 2箇所 MS: 2箇所																	
		余熱除去ポンプ入口7台 (2V-RH-003A, 003B)			MS: 2箇所 HS: 2箇所																	

LクラスI機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(6)配管 (1/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SA75	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	17	18	19	20	21	22			23			
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3箇所	VT-1	1箇所												
		封水注入ライン			3箇所			1箇所											
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	298箇所	UT	78箇所												
					40箇所		1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所							
					7箇所		1箇所												
					30箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
					12箇所		1箇所												
					54箇所		2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	2箇所	3箇所			
					27箇所		1箇所	1箇所	2箇所						1箇所	1箇所	2箇所		
					27箇所										27箇所		2箇所		
					34箇所		2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	1箇所	
					19箇所				2箇所								1箇所	1箇所	
					43箇所		2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		2箇所	2箇所	2箇所	
					5箇所				1箇所								1箇所		
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	150箇所	PT	43箇所												
					16箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所						
					17箇所									2箇所	1箇所	1箇所			
					6箇所		1箇所	1箇所						1箇所					
					33箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所						

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
 (6) 配管 (2/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008 (※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SA75	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	17	18	19	20	21			22	23	
B 9. 21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	150箇所	43箇所											
					4箇所	25% (1箇所)				1箇所							
					14箇所	25% (4箇所)									1箇所		
					6箇所	25% (2箇所)											
					17箇所	25% (5箇所)							1箇所				
					18箇所	25% (5箇所)											
					18箇所	25% (5箇所)											
					1箇所	25% (1箇所)								1箇所			
					11箇所	3箇所											
					11箇所	25% (3箇所)											1箇所
B 9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	26箇所	9箇所											
					17箇所	25% (5箇所)									1箇所		
					2箇所	25% (1箇所)											
					6箇所	25% (2箇所)											
					1箇所	25% (1箇所)											1箇所
B 9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	55箇所	17箇所											
					3箇所	25% (1箇所)										1箇所	
					1箇所	25% (1箇所)											
					5箇所	25% (2箇所)											
					5箇所	25% (2箇所)											
B 9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径溶接継手)	表面	25%	3箇所	25% (1箇所)											
					1箇所	25% (1箇所)											
					1箇所	25% (1箇所)											
					5箇所	25% (2箇所)											

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(6) 配管 (3/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SA77S	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	17	18	19			20	21	22
B 9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手 (シフト溶接継手)	表面	25%	55箇所	PT	17箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					25箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SISほう酸注入リクカ～ RCS低温側注入ライン	表面	25%	3箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
					15箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン	表面	25%	3箇所	PT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
15箇所	1箇所				1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	100% (可能範囲)	1式	VT-2	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
F 1. 10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の25%	398箇所	VT-3	89箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					HS:1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					MS:4箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					RF:1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					SH:1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					HS:3箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					RF:2箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					SH:4箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					MS:5箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					HS:21箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					RF:27箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					SH:7箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					MS:2箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					AN:1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					HS:0箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
RF:14箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
SH:3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
MS:5箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
AN:2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
HS:8箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
RF:13箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
SH:1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
RF:4箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
HS:3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
RF:4箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
SH:0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1 (保全重要度：高)
(6) 配管 (4/4)

項目番号	カテゴリ	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SA77s	備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	17	18	19	20			21
F 1. 10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の25%	338箇所	VT-3	支持構造物 全数の25%	89箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
		封水注入ライン			支持構造物 全数の25% (5箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		RHRS高温側出口ライン			支持構造物 全数の25% (3箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		余熱除去ポンプ入口ライン			支持構造物 全数の25% (8箇所)			3箇所	11箇所	15箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS蓄圧タンク出口ライン			支持構造物 全数の25% (8箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS高温側低圧注入ライン			支持構造物 全数の25% (4箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS低温側低圧注入ライン			支持構造物 全数の25% (7箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SISほう酸注入タンク-RCS低温側注入ライン			支持構造物 全数の25% (7箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS高温側補助注入ライン			支持構造物 全数の25% (6箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		SIS低温側補助注入ライン			支持構造物 全数の25% (5箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	

原子炉冷却材圧カバウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	カテゴリ	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SA77s	備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	17	18	19	20			21
-	-	余熱除去ポンプ入口ライン 配管と管台との溶接継手	表面	100%	3箇所	PT	100% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (1) 余熱除去冷却器 (1/1)
 余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数：21回)	21	22	23	24	25	26		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	SA2		
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	(A) 2.5%	SA2		
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)				(A入口) 1箇所			SA2		

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NAI-2008を適用

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
(2) 配管 (1/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考												
								検査範囲	検査方法	検査範囲	検査範囲	検査範囲	検査範囲	検査範囲			検査範囲	検査範囲	検査範囲	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)							
C 3.20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手 SIS高温側低圧注入ライン SIS低温側低圧注入ライン 余熱除去冷却器出口ライン 余熱除去ポンプ入口ライン 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン SISほう酸注入ライン RCS低温側注入ライン SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン SIS補助注入ライン SIS低温側ほう酸注入ライン 燃料取替用水タンク出口ライン	表面	7.5%	58箇所	PT	7.5%	12箇所	21	22	23	24	25	26	27	SA2												
					3箇所					1箇所																		
					14箇所																							
					4箇所					1箇所																		
					6箇所					1箇所																		
					2箇所					1箇所																		
					3箇所																							
					12箇所																							
					6箇所																							
					1箇所																							
					3箇所																							
					4箇所																							
C 5.11	C-F	配管溶接継手(呼び径100φを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手) 余熱除去ポンプ入口ライン 格納容器再循環サブ出口ライン (RHR) 配管溶接継手(呼び径100φを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手) SIS高温側低圧注入ライン	表面 表面 表面 体積及び表面	7.5%	87箇所	PT	7.5%	7箇所								SA2												
					66箇所																							
					21箇所																							
					73箇所																							
13箇所																												

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
(2) 配管 (2/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S. NA1-2008 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SM/FS	備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査範囲	検査範囲	検査範囲			検査範囲	検査範囲			
C 5.11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手) SIS低温側低圧注入ライン	体種及び表面	7.5%	73箇所	UT・PT	6箇所	21	22	23	24	25	26	27	---		
					60箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			1箇所
C 5.21	C-F	配管溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手) SIS補助注入ライン 充てん/高圧注入ボンプ 出口ライン SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン SIS低温側ほう酸注入ライン SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン	表面	7.5%	322箇所	PT	26箇所	21	22	23	24	25	26	27	---		
					13箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2
					24箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2
					132箇所			1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所			SA2
					86箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2
					25箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2
C 5.30	C-F	リフト溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手) SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン SISほう酸注入タンク～RCS低温側補助注入ライン	表面	7.5%	62箇所	PT	7箇所	21	22	23	24	25	26	27	---		
					30箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
					17箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
F 1.21	F-A	支持構造物 SIS補助注入ライン	VT-3	7.5%	389箇所	VT-3	38箇所	21	22	23	24	25	26	27	---		
					6箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
(2) 配管 (3/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
		支持構造物			389箇所		38箇所	21	22	23	24	25	26	27				
F. I. 21	F-A	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	RH 13箇所	VT-3	38箇所											
					HS 1箇所													
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	AN 2箇所	VT-3	38箇所											
					RH 9箇所													
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	HS 21箇所	VT-3	38箇所											
					SH 4箇所													
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%	RH 12箇所	VT-3	38箇所											
					HS 17箇所													
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	SH 3箇所	VT-3	38箇所											
					RH 14箇所													

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
(2) 配管 (4/5)

項番	目号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考								
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)												
			支持構造物			389箇所			21	22	23	24	25	26	27						
F 1. 21		F-A	SIS高温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	RH	72箇所	VT-3													
						HS	1箇所											3箇所			
						AN	8箇所														
						RH	40箇所														
						HS	1箇所														
						AN	6箇所														
						RH	18箇所														
						HS	16箇所														
						AN	1箇所														
						SIS低温側低圧注入ライン															
			SIS低温側ほう酸注入ライン																		
			SISほう酸注入タンクへRCS低温側注入ライン																		
			格納容器再循環サブ出口ライン (RHR)																		

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (2) 配管 (5/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考	
								定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
								21	22	23	24	25	26	27			
F 1.21	F-A	支持構造物	燃料取扱替用水タック出口ライン	7.5%	389箇所 RH 25箇所 HS 1箇所 AN 4箇所	VT-3	38箇所	21	22	23	24	25	26	27	---		
										1箇所			1箇所				
											1箇所						1箇所
		格納容器スプレッドハウジング			4箇所		7.5% (1箇所)							SA2			

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (4) ポンプ (1/1)

余熱除去ポンプ

項目番号	発電用原子力設備規格 JSME S NAI-2008 (※)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						SAクラス	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数：21回)							
								21	22	23	24	25	26		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2	(A) 1箇所
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所×2台	VT-3	(A) 1箇所							SA2	

充てん/高圧注入ポンプ

項目番号	発電用原子力設備規格 JSME S NAI-2008 (※)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						SAクラス	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数：21回)							
								21	22	23	24	25	26		
C3.30	C-C	ケーシングと支持脚との取付け溶接継手	表面	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)		(A) 1箇所					SA2	
C4.30	C-D	ケーシングポルト	体積	代表1台の7.5% (1箇所)	16本×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	(A) 1本						SA2	(A) 1本
C6.10	C-G	ケーシングと吸込みフランジとの溶接継手	表面	代表1台の7.5% (1箇所)	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)			(A) 1箇所				SA2	
		外部ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5% (1箇所)	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)				(A) 1箇所			SA2	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2	(A) 1箇所

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (1/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						SAクラス	備考					
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27			
C7.10 C7.70	C-H		体積制御タンク及びび入ロライン	VT-2								○	SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		A 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2								○	SA2	
C7.30 C7.70	C-H		B 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2				○					SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		C 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2					○				SA2	
C7.10 C7.70	C-H		ほう酸注入ツグ廻りライン	VT-2								○	SA2	
C7.10 C7.70	C-H		冷却材フィルタ及びび入ロライン (VC タンク入口)	VT-2					○				-	
C7.10 C7.70	C-H		抽出ライン (1)	VT-2								○	-	
C7.10 C7.70	C-H		抽出ライン (2)	VT-2								○	-	
C7.30 C7.70	C-H		抽出ライン (3)	VT-2								○	-	
C7.10 C7.70	C-H		A ほう酸タンク及びび入ロライン	VT-2			●						SA2	
C7.10 C7.70	C-H		B ほう酸タンク及びび入ロライン	VT-2			●						SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		A ほう酸ポンプ出口ロライン (ほう酸混合 器)	VT-2				●					SA2	
C7.30 C7.70	C-H		B ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2				●					SA2	
C7.10 C7.70	C-H		A 蓄圧タンク及びび入ロライン	VT-2				●					SA2	
C7.10 C7.70	C-H		B 蓄圧タンク及びび入ロライン	VT-2				●					SA2	
C7.10 C7.70	C-H		C 蓄圧タンク及びび入ロライン	VT-2							○		SA2	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (2/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	SAクラス	備考						
系統名		ライン名称		定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
					21	22	23	24	25	26	27		
C7.30	C7.70	C-H	安全注入系統	RCS 充てん安全注入ライン (1)	VT-2					○		SA2	
C7.30	C7.70	C-H		RCS 充てん安全注入ライン (2)	VT-2						○		SA2
C7.30	C7.70	C-H		RCS 充てん安全注入ライン (3)	VT-2						○		SA2
C7.30	C7.70	C-H		RCS 充てん安全注入ライン (4)	VT-2						○		SA2
C7.30	C7.70	C-H	余熱除去系統	RCS 充てん安全注入ライン (1) (RH R・P)	VT-2				○			SA2	
C7.30	C7.70	C-H		RCS 充てん安全注入ライン (2) (RH R・P)	VT-2				○				SA2
C7.30	C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2		●					SA2	
C7.30	C7.70	C-H		B 余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2			●					SA2
C7.10	C7.30	C-H		A 余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2				○				SA2
C7.50	C7.70	C-H		B 余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2					○			SA2
C7.10	C7.30	C-H	格納容器再循環システム	格納容器再循環ポンプ出口ライン (1)	VT-2			○				SA2	
C7.50	C7.70	C-H		格納容器再循環ポンプ出口ライン (2)	VT-2						○		SA2
C7.10	C7.30	C-H	燃料取替用水系統	燃料取替用水タンク及びび出入ロライン	VT-2		●					SA2	
C7.70													
C7.30	C7.70	C-H	格納容器スプレッドシステム	#A 格納容器再循環ポンプ出口ライン	VT-2			○				SA2	
C7.30	C7.70	C-H		#B 格納容器再循環ポンプ出口ライン	VT-2				○				SA2
C7.30	C7.70	C-H	格納容器A スプレッドポンプ入口ライン	VT-2			●					SA2	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (3/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考	
		系統名	ライン名称			定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
						21	22	23	24	25	26	27			
C7.30	C7.70	C-H	格納容器 アラシステム	格納容器Bスプレイポンプ入口ライン			●						SA2		
C7.10	C7.30	C-H		格納容器Aスプレイポンプ出口ライン						○				SA2	
C7.50	C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン					○					SA2	
C7.10	C7.30	C-H	主蒸気及び再熱蒸気系統、再熱蒸気トランス系統	よう素除去薬品タンク及びび出入口ライン			●						-		
C7.50	C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (A)				●						-	
C7.30	C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (B)				●						-	
C7.30	C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン				●					SA2		
C7.10	C7.30	C-H		B蒸気発生器給水入口ライン					●					SA2	
C7.70	C7.70	C-H		C蒸気発生器給水入口ライン					●					SA2	
C7.30	C7.70	C-H	1次冷却材系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン						○			SA2		
C7.30	C7.70	C-H		B蒸気発生器蒸気出口ライン							○			SA2	
C7.30	C7.70	C-H		C蒸気発生器蒸気出口ライン								○		SA2	
C7.30	C7.70	C-H	化学体積制御系統	加圧器逃しタンクPMW供給ライン			●						-		
C7.30	C7.70	C-H		RCP封水注入戻りライン				●						-	
C7.30	C7.70	C-H		蓄圧タンクN2供給ライン								○		-	
C7.30	C7.70	C-H	安全注入系統	蓄圧タンクテストライン					○				-		
C7.30	C7.70	C-H												-	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (4/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考			
		系統名	ライン名称	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)											
				21	22	23	24	25	26	27					
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	ライン名称	蓄圧タンク充てんライン	VT-2						○				
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統		原子炉キャビティ浄化入ロライン	VT-2	●									
C7.30 C7.70	C-H			原子炉キャビティ浄化出ロライン	VT-2						○				
C7.30 C7.70	C-H	液体廃棄物処理系統		格納容器冷却材ドレンタンク出口ライン	VT-2				○						
C7.30 C7.70	C-H			格納容器サンプポンプ出口ライン	VT-2	●									
C7.30 C7.70	C-H	蒸気発生器プロダクション及びシリンク系統		A蒸気発生器プロダウンライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H			B蒸気発生器プロダウンライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H			C蒸気発生器プロダウンライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H			A蒸気発生器サンプラライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H			B蒸気発生器サンプラライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H			C蒸気発生器サンプラライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補給水系統		原子炉補給水ライン (DW)	VT-2									○	
C7.30 C7.70	C-H	所内用空気系統		所内用空気ライン	VT-2									○	
C7.30 C7.70	C-H	補助蒸気系統		補助蒸気ライン	VT-2							○			
C7.30 C7.70	C-H	消火装置系統		消火装置ライン	VT-2					○					
C7.30 C7.70	C-H			R C P C02消火装置ライン	VT-2					○					

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (5/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	SAクラス	備考						
		系統名	ライン名称									
		定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
C7.30 C7.70	C-H	1次系サ アラジグ系 統	加圧器気相部サンプラライン	21 ●	22	23	24	25	26	27	—	
C7.30 C7.70	C-H		加圧器液相部Bループ高温側サンプラ ライン	●							—	
C7.30 C7.70	C-H		Cループ高温側サンプラライン	●							—	
C7.30 C7.70	C-H	コントロールカ 空調用冷 水系統	蓄圧タンク (A・B・C) サンプラライン	●							—	
C7.30 C7.70	C-H		制御棒位置指示装置盤冷却ユニット冷却 水出口ライン	●							—	
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補 機冷却水 系統	制御棒位置指示装置盤冷却ユニット冷却 水入口ライン	●							—	
C7.30 C7.70	C-H		余剰抽出冷却器冷却水入口ライン	VT-2					○		—	
C7.30 C7.70	C-H		余剰抽出冷却器冷却水出口ライン	VT-2				○			—	
C7.30 C7.70	C-H		一次冷却材ポンプ (A・B・C) 冷却水入口 ライン	VT-2					○		—	
C7.30 C7.70	C-H		一次冷却材ポンプ (A・B・C) 冷却水出口 ライン	VT-2					○		—	
C7.30 C7.70	C-H	格納容器再循環 系統	格納容器再循環ユニット (A・B) 冷却水 入口ライン	VT-2						○	SA2	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (A) 冷却水出口 ライン	VT-2						○	SA2	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (B) 冷却水出口 ライン	VT-2						○	SA2	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (C・D) 冷却水 入口ライン	VT-2						○	—	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (C) 冷却水出口 ライン	VT-2						○	—	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (D) 冷却水出口 ライン	VT-2						○	—	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (6/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
		系統名	ライン名称		
C7.30	C-H		制御棒駆動装置冷却水入ロライン	定期検査の回数 (起点となる回数: 21回)	—
C7.30	C-H	原子炉補機冷却水系統	制御棒駆動装置冷却水出口ライン (A)	21	—
C7.30	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン (B)	22	—
C7.30	C-H		格納容器冷却材ドレン冷却器冷却水出口ライン	23	—
C7.30	C-H		制御用空気Aヘッダーライン	24	—
C7.30	C-H		制御用空気Bヘッダーライン	25	SA2
C7.30	C-H		加圧器圧力校正ライン	26	SA2
C7.30	C-H			27	—

3.クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査 SN2-99(保全重要度：高)
 クラス2管特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所2号機検査計画(10年間)							SA77s	備考	
								定期検査の回数(起点となる回数:19回)									
								19	20	21	22	23	24	25			
		配管の円周方向溶接部															
		抽出ライン	体積	25%	20箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		充てんライン	体積	25%	38箇所	UT	25% (10箇所)	2箇所	3箇所		1箇所	1箇所	2箇所	1箇所			SA2
		再生熱交換器連絡管															
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所		1箇所			1箇所	1箇所			SA2

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (1) 原子炉容器 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%		
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%		
		下部胴とドラッグジョーリングの周溶接継手	体積	5%		
B3.105	B-C	ドラッグジョーリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	5%		
		上部胴と上部胴ドラッグの周溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋ドラッグの周溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
		冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.20	B-D	冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積	100% (可能範囲)		
		呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手				
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	100% (可能範囲)		
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手		100% (可能範囲)		
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%		
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%		
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%		

※ 平成25年7月以降は維持規格 JSME S NAI-2008を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (1) 原子炉容器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 T/Cハウジングのフラグ	VT-1	25%		
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハウジングの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)		
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)		
		内部取付け物 炉心支持構造物				
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
		下部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)		

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(1)原子炉容器(3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手の溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	クラス1機器供用期間中検査で管理	
-	-	冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (1/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
		検査の対象箇所	検査範囲					
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	クラス1機器供用期間中検査で管理			
		下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%				
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%				
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%				
B2.13	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%				
		管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%				
		ハージ用管台と容器との溶接継手						
B3.30	B-D	スプレッド用管台と容器との溶接継手						
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手 安全弁用管台と容器との溶接継手						
		管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%				
		ハージ用管台内面の丸みの部分						
B3.40	B-D	スプレッド用管台内面の丸みの部分						
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分 安全弁用管台内面の丸みの部分						

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
(2) 加圧器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
			検査方法	検査範囲		
B5. 40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		ナッジ用管台とセーフエントの溶接継手※2				
		スプレッド用管台とセーフエントの溶接継手※2				
		逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2				
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2				
B7. 20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%		
		マンホール取付ボルト				
B8. 20	B-H	容器の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%		
		スカート取付け溶接継手				
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎等も含む)	VT-3	25% (可能範囲)		

※2 第19回定検管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (3/3)
 加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考						
		セーフ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	川内原子力発電所第2号機検査計画							
				100%								
		スプレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%			クラス1機器供用期間中検査で管理					
				100%								
		逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%								
				100%								
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%								
				100%								

※2 第19回定検管台とセーフエントの溶接継手取替 (690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (3) 蒸気発生器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	備考
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の間溶接継手	体積	代表1基の25%		
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積	代表1基の25%		
B5.70	B-F	外径100A以上の管台とセーフットの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%		
		冷却材出入口管台とセーフットの溶接継手				
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1基の25%		
		マンホール取付けボルト				
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベース、プレート、基礎等も含む)	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)		

注：第22回定検蒸気発生器取替 (690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手		100%		
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手				

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (4) 1次冷却ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部		
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部		
		シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベース、プレート、基礎等も含む)	VT-3	代表1台の25% (可能範囲)

クラス1 機器供用期間中検査で管理

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度: 高)
 (5) クラス1弁 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B6. 210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ボルト, 補込みボルト)	体積	代表1台の25%	
		RHRS高温側出口ロライン			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ロライン 2V-RH-003A, 003B			
B6. 220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (フランジ表面)	VT-1	代表1台の25%	
		RHRS高温側出口ロライン			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ロライン 2V-RH-003A, 003B			
B6. 230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ナット, プラグ, ワッシャー, ワッシャ)	VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		RHRS高温側出口ロライン			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口ロライン 2V-RH-003A, 003B			
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	
		加圧器逃がしロライン (2V-RC-054A, 054B)			
		加圧器逃がしロライン (2-PCV-454C, 455)			
		加圧器逃がしロライン (2V-RC-053)			
		加圧器安全弁ロライン (2V-RC-055~057)			
		CVCS再生熱交換器側入口ロライン (2-LCV-451, 452) クロスオーバーレグドレンロライン (2V-RC-017)			

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (5) クラス1弁 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考				
						発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)			
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%					
		クラス1バレルドレイン (2V-RC-019A～C)							
		CVCS再生熱交換器出口～RCS低温側弁ドレイン (2V-CS-228, 229)							
		SIS蓄圧タンク出口ドレイン (2V-SI-134A～C, 136A～C)							
		SIS高温側低圧注入ドレイン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)							
		SIS低温側低圧注入ドレイン (2V-SI-202A～C, 203A～C)							
		SIS高温側補助注入ドレイン (2V-SI-088)							
		弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)							
		加圧器安全弁ドレイン (2V-RC-055～057)							
		RHRS高温側出口ドレイン (2V-RH-001A, 001B)							
B12.50	B-M-2	余熱除去ポンプ入口ドレイン (2V-RH-003A, 003B)	VT-3	代表1台					
		SIS蓄圧タンク出口ドレイン (2V-SI-134A～C, 136A～C)							
		SIS高温側低圧注入ドレイン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)							
		SIS低温側低圧注入ドレイン (2V-SI-202A～C, 203A～C)							
		SIS高温側補助注入ドレイン (2V-SI-088)							
		クラス1 機器供用期間中検査で管理							
		クラス1 機器供用期間中検査で管理							
		クラス1 機器供用期間中検査で管理							

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (5) クラス1弁 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
F 1.41	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライク (2V-RC-055~057)				
		加圧器逃がしライク (2V-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしライク (2-PCV-454C, 455)				
		CVCS再生熱交換器胴側 入口ライク (2-LCV-451, 452)				
		RHRS高温側出口ライク (2V-RH-001A, 001B)				
		余熱除去ポンプ入口ライク (2V-RH-003A, 003B)				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008 (※)		川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B 7.50	B-C-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	
		封水注入ライン		
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%
		一次冷却材管		
		加圧器ヘジライン		
		加圧器安全弁ライン		
		加圧器逃がしライン		
		RHS高温側出口ライン		
		余熱除去ポンプ入口ライン		
		SIS蓄圧タンク出口ライン		
		SIS高温側低圧注入ライン		
		SIS低温側低圧注入ライン		
SIS高温側補助注入ライン				
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%
		加圧器逃がしライン		
		クロスオーバーレグ分岐管閉止キヤップ		
		クロスオーバーレグドレンライン		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (2/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考						
							発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)					
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満) CVCS再生熱交換器側 入口ライン CVCS再生熱交換器出口 RCS低温側充てんライン 封水注入ライン SISほう酸注入タンク RCS低温側注入ライン SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン 余熱除去ポンプ入口ライン	表面	25%								
							B 9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上) 一次冷却材管	体積	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
							B 9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ケット溶接継手) 一次冷却材管 クラス1配管(レクドレンライン)	表面	25%	

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (3/4)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008 (※)		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)	備 考
	カテゴリ	母管と管台との溶接継手 (カット溶接継手)					
B 9.40	B-J	封水注入ライン	母管と管台との溶接継手 (カット溶接継手) 封水注入ライン SISほう酸注入カク〜 RCS低温側注入ライン SIS高温側補助注入ライン SIS低温側補助注入ライン 支持構造物	表面	25%		
		加圧器ケーシング					
		加圧器逃がしライン					
		クラス0パレクドレンライン					
		CVCS再生熱交換器胴側入口ライン					
F 1.10	F-A	加圧器逃がしライン	支持構造物 全数の 25%	VT-3	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
		CVCS再生熱交換器出口〜 RCS低温側充てんライン					

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (4/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
F 1.10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		封水注入ライン				
		RHRS高温側出口ライン				
		余熱除去ポンプ入口ライン				
		SIS蓄圧タンク出口ライン				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
		SISほう酸注入タンク-RCS低温側注入ライン				
		SIS高温側補助注入ライン				
		SIS低温側補助注入ライン				

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考
---	---	余熱除去ポンプ入口ライン配管と管台との溶接継手	表面	100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(7)容器(1/1)

余熱除去冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)						備考	
						定期検査の回数(起点となる回数:20回)							
						20	21	22	23	24	25	26	27
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基								
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基					(A) 7.5%			
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	12箇所×2基							1箇所	

クラス2 機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器(胴側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)						備考	
						定期検査の回数(起点となる回数:20回)							
						20	21	22	23	24	25	26	27
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基								(A) 7.5%
C1.10	C-A	胴側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基					(A) 7.5%			
C3.10	C-C	胴と当板脚の溶接継手	表面	代表1基の7.5%	12箇所×2基							1箇所	
F1.43	F-A	当板脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×2基							1箇所	

格納容器スプレイ冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)						備考	
						定期検査の回数(起点となる回数:20回)							
						20	21	22	23	24	25	26	27
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ｼｰﾄﾞ/基×2基								(A) 7.5%
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ｼｰﾄﾞ/基×2基								(A) 7.5%

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(1/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)							備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)						
		配管支持部材取付け溶接継手					20	21	22	23	24	25	26	27
C-3-20	C-C	格納容器再循環サブ 出口ライン(C/Vサブレイ)	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
		SIS高温側低圧注入ライン												
		SIS低温側低圧注入ライン												
		余熱除去冷却器出口ライン												
		余熱除去ポンプ入口ライン												
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン												
		SISほう酸注入カッタ RCS低温側注入ライン												
		SIS高温側補助注入ライン												
		SIS低温側補助注入ライン												
		SIS補助注入ライン												
SIS低温側ほう酸注入ライン														
燃料取替用水カッタ出口ライン														
C-5-11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で 公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)	表面	7.5%	58箇所	PT	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
		格納容器再循環サブ 出口ライン(C/Vサブレイ)												
		主蒸気逃がしライン												
		余熱除去ポンプ入口ライン												
		格納容器再循環サブ 出口ライン(RRR)												
配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で 公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)														
C-5-11	C-F	SIS高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
		SIS低温側低圧注入ライン												

クラス2機器供用期間中検査で管理

クラス2機器供用期間中検査で管理

クラス2機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(2/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)				川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)							備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
							20	21	22	23	24	25	26	27		
C 5.21	C-F	配管溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)														
		SIS補助注入ライン	表面	7.5%												
		充てん/高压注入ポンプ 出口ライン														
		SIS高温側補助注入ライン														
		SIS低温側補助注入ライン														
		SIS低温側ほう酸注入ライン														
SISほう酸注入ライン~RCS低温側注入ライン																
クラスタ2機器供用期間中検査で管理																
C 5.30	C-F	パイプ溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)														
		SIS高温側補助注入ライン	表面	7.5%												
		SIS低温側補助注入ライン														
SISほう酸注入ライン~RCS低温側注入ライン																
F 1.21	F-A	支持構造物														
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	VT-3	50箇所 AN 13箇所 RH 37箇所										
		格納容器再循環ユニット 海水放注ライン														
		格納容器再循環ユニット 冷却水供給ライン														
格納容器再循環ユニット 冷却水戻りライン																

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管 (3/4)

項 目 番 号	カテ ゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備 考								
		検査の対 象 箇 所	検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	20	21	22		23	24	25	26	27			
F 1.21	F-A	支持構造物	7.5%	VT-3	25箇所	HS 11箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---			
						RH 12箇所	7.5% (2箇所)	1箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---		
						SH 2箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
						HS 10箇所	7.5% (3箇所)	1箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
						RH 22箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
						SH 2箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
						HS 5箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
						RH 20箇所	7.5% (3箇所)	1箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
						SH 2箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
						36箇所	7.5% (3箇所)	1箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
						4箇所	7.5% (1箇所)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
						36箇所	7.5% (3箇所)	1箇所	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
2箇所	7.5% (1箇所)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---						
4箇所	7.5% (1箇所)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---						

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (8)配管(4/4)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)							
		支持構造物						20	21	22	23	24	25	26	27
F 1. 21	F-A	SIS補助注入ライン	VT-3	7.5%											
		充てん/高圧注入ポンプ”A”出口ライン													
		余熱除去ポンプ”A”投入ライン													
		余熱除去ポンプ”A”出口ライン													
		余熱除去冷却器出口ライン													
		SIS高温側低圧注入ライン													
		SIS高温側補助注入ライン													
		SIS低温側補助注入ライン													
		SIS低温側低圧注入ライン													
		SIS低温側ほう酸注入ライン													
		SISほう酸注入タンク”A”~RCS低温側注入ライン													
		格納容器再循環ポンプ”A”出口ライン (RHR)													
燃料取替用水タンク出口ライン															
格納容器”A”レイアウト注入ライン															
クラス2機器供用期間中検査で管理															

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(9)弁(1/1)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)		川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)							備考							
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	20	21	22		23	24	25	26	27		
F 1.43	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の7.5%	原子炉補機冷却水ライン	2箇所	2箇所	---	---	---	---	---	---	---	---			
					格納容器再循環サブ出口ライン(C/Vスプレッド)	2箇所	2箇所	---	---	---	1箇所	---	---	---	---	---	---	
					格納容器換気空調 ^外 (BS-I-700)	6箇所	6箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	1箇所	---	---	---
					格納容器換気空調 ^外 (BS-I-600)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					格納容器換気空調 ^外 (BS-I-300)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					主蒸気逃がしライン	6箇所	6箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					充てん/高圧蒸気 ^外 出口ライン(2V-SI-023A, 023B)	1箇所	1箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					余熱除去 ^外 入口ライン(2V-SI-191A, 191B)	1箇所	1箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					余熱除去冷却器出口ライン(2-HCV-603, 613)	1箇所	1箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					余熱除去 ^外 出口ライン(2-FCV-604, 614)	1箇所	1箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					余熱除去冷却器出口ライン(2V-RH-021A, 021B, 024A, 024B)	4箇所	4箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					SIS高温側低圧注入ライン(2V-SI-206)	1箇所	1箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					SIS高温側補助注入ライン(2V-SI-082, 101, 301, 303)	4箇所	4箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					SIS低温側補助注入ライン(2V-SI-094, 302)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
					SIS低温側低圧注入ライン(2V-SI-197A, 197B)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
SIS低温側 ^外 酸注入ライン(2V-SI-042A, 042B)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---					
燃料取替用水タンク出口ライン(2-LCV-121D, 121E)	2箇所	2箇所	VT-3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---					

クラス2機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(10)ポンプ(1/2)

余熱除去ポンプ

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)	川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)					備考								
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法		検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)						
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%			20	21	22	23	24	25	26	27	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%			クラス2機器供用期間中検査で管理								

充てん/高圧注入ポンプ

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)	川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)					備考								
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法		検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)						
C3.30	C-C	ケーシングと支持脚との取付け溶接継手	表面	代表1台の 7.5%			20	21	22	23	24	25	26	27	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%			クラス2機器供用期間中検査で管理								
C6.10	C-G	ケーシングと吸込みフランジとの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%			クラス2機器供用期間中検査で管理								
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%			クラス2機器供用期間中検査で管理								

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(10)ポンプ(2/2)

原子炉補機冷却水ポンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)					備考			
								定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	20	21	22	23	24	25	26	27	

格納容器スプレイポンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)					備考			
								定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	20	21	22	23	24	25	26	27	

常設電動注入ポンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)					備考			
								定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	20	21	22	23	24	25	26	27	1箇所

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)											
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数(起点となる回数:20回)						備考		
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25		26	27
B15.10	B-P	一次冷却材 系統	原子炉容器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
B15.20	B-P		加圧器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
B15.30	B-P		蒸気発生器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
B15.60	B-P		一次冷却材ポンプ	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
B15.70	B-P		クラス1弁	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
B15.50	B-P		クラス1配管	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○	
C7.30	C-H		B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水供給ライン	VT-2			●						
C7.30	C-H	B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水戻りライン	VT-2		●								
C7.10	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2									○	
C7.10	C-H	A充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2									○	
C7.50	C-H	B充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2						○				
C7.30	C-H	C充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2							○			
C7.10	C-H	ほう酸注入/通り廻りライン	VT-2									○	
C7.10	C-H	Aほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●								
C7.10	C-H	Bほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●								
C7.10	C-H	Aほう酸ポンプ出口ライン(ほう酸混合器)	VT-2				●						
C7.30	C-H	Bほう酸ポンプ出口ライン	VT-2				●						

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称	ライン名称		定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
						20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.30	C7.70	C-H	使用済燃料ピット浄化冷却系統	使用済燃料ピット補給用給水ライン(1)	VT-2		●							
C7.30	C7.70	C-H		使用済燃料ピット補給用給水ライン(2)	VT-2		●							
C7.30	C7.70	C-H		常設電動注入ポンプ入口ライン	VT-2			●						
C7.30	C7.50	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ出口ライン	VT-2				●					
C7.10	C7.30	C-H		燃料取替用水タンク及びび出入ロライン	VT-2				●					
C7.30	C7.70	C-H		A.原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	VT-2					○				
C7.30	C7.70	C-H		補助給水ポンプ海水注入ライン	VT-2					○				
C7.30	C7.70	C-H		B.原子炉補機冷却水冷却器海水放出ライン	VT-2					○				
C7.30	C7.70	C-H		原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	VT-2						○			
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	格納容器再循環ユニット(A・B)冷却水入口ライン	VT-2								○	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット(A)冷却水出口ライン	VT-2									○
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット(B)冷却水出口ライン	VT-2								○	
C7.10	C7.30	C-H		原子炉補機冷却水サージタンク及びび出口ライン	VT-2								○	
C7.30	C7.70	C-H		原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2							○		
C7.10	C7.30	C-H		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2							○		

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称			定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
C7.10 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	# A, # B海水ポンプ出口ライン		VT-2	20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.10 C7.70	C-H		A 蓄圧タンク及びび出入ライン		VT-2			●						
C7.10 C7.70	C-H		B 蓄圧タンク及びび出入ライン		VT-2			●						
C7.10 C7.70	C-H		C 蓄圧タンク及びび出入ライン		VT-2					○				
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン(1)		VT-2							○		
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	RCS充てん安全注入ライン(2)		VT-2								○	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン(3)		VT-2								○	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン(4)		VT-2								○	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン(1)(RH R・P)		VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン(2)(RH R・P)		VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		A余熱除去ポンプ入口ライン		VT-2			●						
C7.30 C7.70	C-H		B余熱除去ポンプ入口ライン		VT-2				●					
C7.10 C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ出口ライン		VT-2					○				
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		B余熱除去ポンプ出口ライン		VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環サンプ出口ライン(1)		VT-2					○				
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環サンプ出口ライン(2)		VT-2								○	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考						
		系統名	ライン名称		定期検査の回数(起点となる回数:20回)													
C7.30	C-H	格納容器 スプレイ系統	可搬型ポンプ用送水ライン(1)	VT-2														
C7.30	C-H		可搬型ポンプ用送水ライン(2)	VT-2														
C7.30	C-H	格納容器 スプレイ系統	#A 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2					○									
C7.30	C-H		#B 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2						○								
C7.30	C-H	格納容器 スプレイ系統	格納容器Aスプレイポンプ入口ライン	VT-2														
C7.30	C-H		格納容器Bスプレイポンプ入口ライン	VT-2														
C7.10 C7.50 C7.70	C-H	格納容器 スプレイ系統	格納容器Aスプレイポンプ出口ライン	VT-2									○					
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン	VT-2										○				
C7.10 C7.70	C-H	主蒸気及び 再熱蒸気系 統、再熱蒸 気ドリシステム	A蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2										○				
C7.10 C7.70	C-H		B蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2											○			
C7.10 C7.70	C-H		C蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2													○	
C7.10 C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	VT-2														
C7.10 C7.70	C-H		B蒸気発生器給水入口ライン	VT-2														
C7.10 C7.70	C-H		C蒸気発生器給水入口ライン	VT-2														

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(5/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称			20	21	22	23	24	25	26		27
C7.30	C7.50	C-H	補助給水系統	補助給水ポンプ入口ライン		VT-2				○				
C7.30	C7.50	C-H		A 電動補助給水ポンプ出口ライン		VT-2					○			
C7.30	C7.50	C-H		B 電動補助給水ポンプ出口ライン		VT-2					○			
C7.30	C7.50	C-H		タービン動補助給水ポンプ出口ライン		VT-2						○		
C7.30	C7.70	C-H	制御用空気系統	A 事故後サンプリング設備弁用制御用空気ライン		VT-2		●						
C7.30	C7.70	C-H		A 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン		VT-2			●					
C7.30	C7.70	C-H		B 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン		VT-2			●					
C7.30	C7.70	C-H		アニュラス出口弁用制御用空気ライン		VT-2							●	
C7.30	C7.70	C-H	ディーゼル発電機始動空気ライン	アニュラスよう素フィルタ出入口弁用制御用空気ライン		VT-2							●	
C7.30	C7.70	C-H		アニュラス全量排気弁用制御用空気ライン		VT-2								●
C7.30	C7.70	C-H		制御用空気Aヘッダーライン		VT-2						○		
C7.30	C7.70	C-H		制御用空気Bヘッダーライン		VT-2						○		
C7.10	C7.30	C-H		# A, # B 制御用空気圧縮機出口ライン		VT-2							○	
C7.10	C7.70	C-H		# A デーゼル発電機始動空気ライン		VT-2								○
C7.10	C7.70	C-H	# B デーゼル発電機始動空気ライン		VT-2								○	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(6/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称		定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
C7.30	C-H		アニュラス空気浄化ライン	VT-2	20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.30	C-H	換気空調系統	中央制御室換気空調ライン	VT-2				●	○	○			技術基準規則第58条第2項のただし書による「他の方法」として外観検査を実施回数定検回に分けて実施
C7.30	C-H	1次系サブリンク系統	事故後サンプリングライン	VT-2								○	

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (12)クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間) クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	備考
-	-	配管の円周方向溶接部				
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (13)クラスMC格納容器供用期間中検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考				
					設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：20回)								
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)	20	21	22	23	24	25	26	27	

3. 施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事等

(1) 施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事の実績

No.	件名	実施結果	備考
1	高エネルギーアーク損傷に伴う火災発生防止対策工事	「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」の一部改正に伴い、高エネルギーアーク放電による重要安全施設への電力供給に係る電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置を講じるよう追加要求されたことから、その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備について、高エネルギーアーク放電による電気盤（非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤を除く。）の損傷の拡大を防止するために必要な措置を講じた。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画認可申請（平成30年10月19日付 原発本第214号） ・工事計画認可補正申請（平成31年2月15日付 原発本第290号）
2	抽出ライン配管修繕工事	抽出ラインの一部に残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管を使用している箇所が存在することから、予防保全の観点から熱間曲げ管へ取替えを行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画届出（令和元年7月26日付 原発本第66号）

(2) 行政指導文書等の点検指示による検査の実績

検査名	検査内容	備考
—	A型高燃焼度17行17列型燃料集合体の再使用予定がないため、外観点検（最下部支持格子内の隙間等確認）の実績なし。	平成22年2月5日付け平成22・02・03原院第3号「高燃焼度17行17列型燃料集合体の使用に当たっての確認について（指示）」に基づく対応（確認）

4. 施設定期検査成績書における所見および処置

なし

5. 放射線業務従事者の実績線量

(1) 放射線業務従事者の実績線量

件名	区分	従事者数 (人)	総線量 (人・Sv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
総計	社員	358	0.02	0.06	1.71
	社員外	2,045	0.98	0.48	8.33
	合計	2,403	1.00	0.42	—

1. 測定器：警報付ポケット線量計

2. ホールボディカウンタでの測定結果により、内部被ばくはなかった。

(預託線量 2 mSv / 50年 未満)

(2) 個人最大実績線量が1日当たり1.00 mSvを超えた作業の実績線量

作業内容	個人最大実績線量 (mSv / day)
抽出ライン配管修繕工事	2.20
RCPインターナル分解点検	1.08

1. 測定器：警報付ポケット線量計

参考 前回定期事業者検査における実績線量

作業内容	個人最大実績線量 (mSv / day)
—	—
—	—

1. 測定器：警報付ポケット線量計

(3) 各作業の総線量

作 業 項 目		総線量[人・Sv]
定期 事業者 検査 作業	内 訳	
	機械関係	0.07
	放管関係	0.07
	弁・配管関係	0.07
	R/V関係	0.06
その他	0.33	
小 計		0.61
改良 工事 等	内 訳	
	抽出ライン配管修繕工事	0.26
	1次冷却材管A, B, Cループ流量検出ライン修繕工事	0.06
	改良工事 放射線管理	0.03
	原子炉安全補助施設設置工事	0.03
その他	0.01	
小 計		0.40
合 計		1.00

(注) 線量は、四捨五入した数値を記載しているため合計値が合わないことがある。

○計画（予想）総線量との比較評価

今回の定期事業者検査では、予想値約0.87人・Svに対し、実績値1.00人・Svとなった。この要因は、計画と比較して環境線量当量率が高かったことによる。